



10月15日(金)

15:10 開演

【藤原道山プロフィール】

十歳より尺八を始め、人間国宝初代山本邦山(都山流)に師事。東京芸術大学大学院音楽研究科修了。二〇〇九年、シユトイデ弦楽四重奏団と共演。ピアノ・チェロとのユニット「Kobudo」古武道「一」、マリンバ奏者 SINSKE とのユニット、尺八アンサンブル「風雅竹韻」などを結成し、日本の古典音楽、洋楽などのジャンルを越えた活動を行っている。NHK「にほんごであそぼ」にレギュラー出演中。二〇二二年三月、令和二年度(第七十一回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

日時：10月15日(金) 15時10分～16時40分

講義：鈴木俊幸(本学文学部教授)

演奏と解説：藤原道山(尺八演奏家)

会場：中央大学多摩キャンパス
FOREST GATEWAY CHUO 3階ホール

対象：中央大学国文学専攻の学生、および学内者

事前予約制(先着100名) 入場無料

※ご来場の際はマスク着用・手指の消毒等、感染予防にご協力ください。



申し込みフォーム

締切 10月13日

全学メールアカウントの
ログインが必要です

大学公式サイト内 国文学
専攻のホームページからも
申し込みます

尺八という楽器が中国から日本に渡来したのは七世紀末頃です。その後、中世に一節切(ひとよぎり)、近世に普化(ふけ)尺八が現れ、現在に至っています。その尺八と日本文学の関わりを学び、併せて、藤原道山氏による尺八の演奏を鑑賞します。

問い合わせ先：中央大学国文学会 chuo.kokubungaku.kai@gmail.com